

1	事業名称	教員免許状更新講習 ～「生徒指導・学級経営に活かす体験活動」～			
2	新規・継続	継続			7年目
3	趣 旨	児童・生徒の集団宿泊活動を効果的に実施するための基本的な知識や技術を身につけるとともに、体験活動の位置づけについて理解し、教育課程の編成や教育活動に体験活動を取り入れる方法を習得することにより、教育内容の充実を図る。			
4	期日・期間	回数	開始日	～	終了日
		1回	9月3日(土)	～	9月4日(日)
5	実施場所	国立信州高遠青少年自然の家			
6	募集人数	30人			
7	共催・協力・後援	独立行政法人国立青少年教育振興機構本部			
8	参加者人数	32人			
9	参加者類型	小学校教諭（18人）、中学校教諭（10人）、高等学校教諭（4人）			
10	参加者地域	長野県（30人）、愛知県（2人）			
11	参加者分析	先着30名の定員のところ、募集開始1週間で定員に達したため、33名までを参加者として決定したが、直前になって1名キャンセルがあった。参加申込み者の多くは、募集チラシ、当施設のウェブページおよび人の紹介により当施設での開講を知り、講習内容や受講日数および期日等を総合的に踏まえて受講を決定している。			
12	アンケート満足度	満足	やや満足	やや不満	不満
		91%	9%	0%	0%
13	アンケートの主な記述	<ul style="list-style-type: none"> ・タイトな日程ではあるが2日間で18時間の研修ができるのはありがたいし内容も素晴らしかった。 ・とてもきれいな建物や設備で、スタッフの方の対応もものすごく丁寧で大満足です。 ・講義と実習がバランスよく配分されていてよかったです。 ・明日からすぐに使えるような指導法やネタを教えていただきよかったです。 ・ちょっとした工夫で日々の学習が変えられることを教えていただき、学校でも早速やってみようと思った。 ・北見先生の人間的すばらしさに触れ、感動した。 ・平野先生と北見先生のお話は通じるどころがあり、何をねらいとして活動を仕組むのか、その目的に合った方法をとることが大切だとわかった。 			
14	成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・体験活動に関する講義と実習を織り交ぜた講習内容および、教員免許状更新に必要な30時間のうち、選択科目の全18時間を1泊2日で集中的に受講することができるプログラムに、参加者の高い満足度を得ることができた。 ・参加者全員が履修認定の基準に達しており、事業の趣旨が十分達成できたと考えられる。 			
15	今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者地域が長野県に偏っている。広域的に参加してもらうため周知期間を長くとり、募集開始日を遅らせたい。 ・講義や実習に必要なものをしおりの中に明記して、参加者が動きやすいようにする。 ・講座内容については参加者の満足度も高く内容も充実しているので、今回の方法を続けていきたい。 			
16	担当者メモ	<ul style="list-style-type: none"> ・計画を練る時間、振り返りをする時間は、受講者の理解を深める上での重要な手段であるため、逐次取り入れたい。 ・持ち物については、事前の案内で詳細に明記しておくことが必要。 ・タイトな日程ではあるが休憩時間を確保するなど、メリハリのある計画作りに努めたい。 <p style="text-align: right;">（担当： 小澤 亮）</p>			

プログラム展開	
日程・時間	プログラム
1日目	
8:20~8:50	受付・開講式
9:00~10:30	講義「教育の現状と課題」
10:45~12:45	実習「学級で活かせる『体験活動を使った人間関係作りⅠ』」
	昼食
13:30~15:30	講義「学級で活かせる『体験活動を使った人間関係作りⅡ』」
15:40~18:40	実習「学級作りに活かす体験活動『野外炊飯』」
18:50~20:50	講義・実習「体験活動『キャンプファイヤー』の指導法」
20:50~21:30	入浴
2日目	
7:20~8:00	朝食
8:30~10:30	講義「体験活動の教育的意義」
10:40~14:30	講義・実習「生徒指導・学級経営に活かす自然体験活動『オリエンテーリング』」
14:40~15:40	講義「野外活動における安全管理」
15:50~16:00	閉講式
16:00~17:30	履修認定試験

17



講義「教育の現状と課題」



実習「学級で活かせる『体験活動を使った人間関係作りⅠ』」での一幕



北見講師から危険予知トレーニングを学び、その後班毎に野外炊飯実習を行いました。



キャンプファイヤーとキャンドルファイヤーについて、実践的に学びました。



「体験活動の教育的意義」の講義の様子



環境学習ゲームを行い、自然の不思議を楽しく感じました。



出発する前に作戦会議を開いてからオリエンテーリングに出発します。



フォトオリエンテーリングも行いました。